

# Retalabo の運営等を通じた Next Horizon Sustainable City 推進業務 仕様書

## 1. 業務名

Retalabo の運営等を通じた Next Horizon Sustainable City 推進業務

## 2. 目的

北九州市は、持続可能な都市の新たな方向性として、「Next Horizon Sustainable City」を令和8年1月6日に発表した。かつての公害克服の経験を活かし、国内外の都市が抱える課題解決に貢献してきた北九州市として、世界の複雑な課題解決を都市がけん引し「変革の主体」となることを掲げた、先駆的かつ独自性の高い都市像である。

この実現に向けて、北九州市では、共創拠点である Retalabo（リタラボ）を中心に、

- 都市変革プロジェクト（世界の課題解決にむけたプロジェクト）の創出
- 国際的な発信と都市ブランドの確立
- 市民参加型の社会実装

を推進することとしている。

本業務の実施にあたっては、Retalabo 設計・整備及び運営を中核としつつ、これを単なる施設整備やイベント拠点とするのではなく、市民、企業、大学、行政など多様な主体が集まり、都市課題解決プロジェクトを共創する場として構築することを重視する。

また、Retalabo の設計・運営においては、北九州市がこれまで培ってきた「利他性」「再生性」といった都市の価値を基盤とし、都市が世界の変革主体となるという理念を国内外に発信できるよう、ストーリー性（ナラティブ）を伴った拠点形成を図るものとする。

これにより、北九州市を「世界をリードするサステナブルシティ」として発信するとともに、市民・企業・学術機関等の多様な主体の参画により「Next Horizon Sustainable City」を実現することを目的とする。

## 3. 業務期間

契約締結日から令和9年3月31日まで

## 4. 業務内容

### (1) Retalabo の設計・構築及び運営

本業務は、産官学民が連携し、地域や社会課題の解決と新たな価値創出を推進する「リタラボ」の立ち上げにあたり、その理念、役割、参加価値、ブランド、体験設計、場のあり方を一貫してデザインすること。

単なる共創拠点ではなく、以下を実現する場となるよう運営すること。

- ・ 行政、企業、大学・研究機関、市民が交わることで新たな共創が生まれること
- ・ 社会実装や政策形成、事業創出、人材育成が循環すること
- ・ 外部から見ても魅力的で、参加したくなるブランドと世界観を持つこと
- ・ 継続的な参加と熱量を生むコミュニティ基盤となること

< 主な業務内容 >

(ア) 現状把握・リサーチ

- ・ 北九州市が保有する関連資料の読解
- ・ 関係者ヒアリングの設計・実施
- ・ 先行事例、類似拠点、国内外事例の調査分析
- ・ 対象地域・対象テーマに関する文脈整理

(イ) コンセプト開発

- ・ リタラボの基本構想をデザイン観点から再整理
- ・ 複数案の提示と比較
- ・ コンセプトの言語化とストーリー化
- ・ 市民等の参加促進の仕組みの検討

(ウ) ブランド・体験設計

- ・ リタラボの世界観、ブランド原則の設計
- ・ 参加者体験のシナリオ設計
- ・ 必要なクリエイティブ要素の方針策定

(エ) 可視化・提案資料作成

- ・ コンセプトブックまたは基本構想資料
- ・ ブランド設計資料
- ・ 空間及び体験イメージ資料
- ・ 発信及び展開のための簡易ガイドライン
- ・ 拠点となるリタラボの計画立案等

(オ) 合意形成支援

- ・ 検討会議・ワークショップ等のファシリテーション支援
- ・ 関係者向け説明資料の作成
- ・ 意思決定に必要な比較及び論点整理

(2) 都市変革プロジェクトの創出・推進について

Retalabo を起点として、サステナブルシティの実現に向けた都市変革プロジェクトを継続的に創出・推進するため、都市課題の捉え方、共創の進め方、実証から社会実装に至るプロセス、ならびに国内外ネットワークとの連携のあり方について検討・設計を行う。

あわせて、産官学金民の多様な主体が参画しやすく、挑戦が連鎖する仕組みとして、Retalabo の役割、価値、進め方を整理・可視化する。

<主な業務内容>

(ア) Retalabo を起点として、サステナブルシティの実現に向けた都市変革プロジェクトの創出及び推進のあり方を検討すること

(イ) サステナビリティに関する都市課題について、地域特性や社会的要請等を踏まえた抽出・整理プロセスを検討すること

- (ウ) 産官学金民の共創によりプロジェクトを創出し、継続的に推進するためのプロセス、体制及び役割分担のあり方を検討すること
- (エ) プロジェクトの実証から社会実装へつなげるための基本的なプロセス、評価視点及び推進条件を検討すること
- (オ) 国内外ネットワークとの連携により、知見獲得、共創機会創出及び対外発信を促進するための方法を検討すること
- (カ) 上記の検討を踏まえ、Retalabo の役割、提供価値、共創の進め方及び都市変革プロジェクト創出の考え方を整理し、関係者に共有可能な形で可視化すること

## 5. 成果物

- (1) 受注者は、以下の成果物をすべて提出するものとする。
  - (ア) Retalabo 設計、構築及び運営に伴う計画書
  - (イ) 都市変革プロジェクトの創出及び推進に伴う計画書
  - (ウ) 業務完了報告書
  
- (2) 提出形式      電子データ及び紙媒体（必要に応じて）

## 6. 実施体制

受注者は、本業務を適切に実施するため、少なくとも以下の分野に関する専門的知見を有する人材を配置すること。

- (1) 総括責任者、プロジェクトマネージャー
- (2) 戦略・コンセプト設計
- (3) リサーチ・分析
- (4) ブランド・コミュニケーション設計
- (5) その他必要に応じた専門

## 7. その他

- (1) 業務の実施にあたっては、北九州市と十分に協議を行いながら進めるものとする。
- (2) この契約に定めのない事項については、北九州市契約規則によるものとし、同規則に定めのない事項については、北九州市と受注者とが協議して決定する。ただし、協議が成立しないときは、北九州市の定めるところによる。
- (3) 本業務により作成した書類等の著作権、著作権は北九州市に帰属するものとし、北九州市の承諾なく、他に公表、貸与、使用してはならない。また、書類の作成にあたって他の個人・団体等の資料を引用する場合、著作権者の了解を得なければならない。
- (4) 市が提供する情報・資料等について、本市の許可なく第三者に流布してはならない。